

入場無料

第27回

宮城県歯科医学大会



【特別講演】

う蝕治療ガイドラインを解説する
— 深在性う蝕と根面う蝕への対応を中心に —

講師 鶴見大学名誉教授
歯学部保存修復学講座

桃井保子先生

日時

令和元年

9月8日(日) 9:50～12:00

会場

仙台国際センター
会議棟「萩」

地下鉄：東西線 仙台国際センター駅

ご挨拶

一般社団法人 宮城県歯科医師会 会長 細谷 仁 憲

27回目を迎える今年の宮城県歯科医学大会は9月8日(日)に仙台国際センター会議棟「萩」を会場に開催いたします。

今大会は、講師に桃井保子先生（鶴見大学名誉教授 歯学部保存修復学講座）をお招きして「う蝕治療ガイドラインを解説する～深在性う蝕と根面う蝕への対応を中心に～」と題してご講演をいただきます。

桃井先生によれば、日本歯科保存学会は歯科医師が臨床の現場でEBMの視点から治療方針の判断を下せるようサポートする目的で、2009年にう蝕治療ガイドラインを公開し、2015年には更新した第2版を公開、現在は第3版の更新作業を進めているとのこと。治療ガイドラインは、その時点で入手できる最良の科学的根拠に基づき作成されるが、作成法は研究デザイン中心から患者にとって重要で意味のある治療がもたらす効果を重視したものと変化してきているとのこと。今回の講演は第2版のう蝕治療ガイドラインの概要とその中で推奨する歯冠部の深在性う蝕と根面う蝕への対応について、分かりやすく解説していただきます。

我が国は世界最速で超高齢社会に入り、今後さらに高齢化が加速していく状況を迎えるため、健康寿命の延伸を図り、活力ある健康長寿社会を実現することが大きな課題になってまいりました。

一方で歯も長期にわたって保存し、適正な咬合を維持することが、全身の健康、QOL、ADLの維持、健康寿命の延伸等に貢献できるということが近年の様々な調査・研究で明らかになってまいりました。このことは歯の喪失の原因の8割が歯周病とう蝕でありことから、生涯にわたって歯周病とう蝕に対する予防・治療・再発予防の効果を上げていくことが社会より一層強く歯科に求められていくことになります。

適時、最新のEBMに基づく歯周病並びにう蝕治療のガイドラインを理解し、自院の臨床を点検・改善していくことが、予防・治療・再発予防の効果向上につながっていくことから今回の企画（前回歯周病）となりました。

県民の8020達成率の向上、健康寿命の延伸につなげる本歯科医学大会及び同センター展示棟で7日(土)、8日(日)の2日間にわたって協同して併催される東北デンタルショー（最新の歯科医療機器・材料等出展、歯科技工士会及び歯科衛生士会の企画をはじめ8つの講演会開催）に多くの歯科医療関係者が参加・入場されますことを期待しております。

主催／一般社団法人 宮城県歯科医師会 TEL 022-222-5960

共催／一般社団法人 宮城県歯科技工士会・一般社団法人 宮城県歯科衛生士会・東北新潟歯科用品商協同組合宮城県支部